

出席：濱名校長、斉藤会長、依田、石戸、笠嶋、大山校長、足立校長、鍋谷、濱村、木村太、関口、木村玲、宮島教育長、高橋事務局長  
 職員：奥田、佐藤達、喜多、阿部  
 欠席：市田、松村、白川、佐藤均、工藤

	<p>【第1回学校運営協議会】18:30~19:40</p> <p>1 挨拶                      ・宮島教育長より挨拶                      ・斉藤CS会長より挨拶</p> <p>2 令和7年度学校経営方針について                      ・校長より</p> <p>3 全国募集（地域みらい留学）について                      ・喜多先生より</p> <p>4 学校運営協議会の基本方針・令和7年度のこれまでの取組の紹介                      ・教頭より</p>	備考
<p>教育長 会長 校長 喜多 教頭</p> <p>大山 笠嶋 石戸 大山 笠嶋 奥田 笠嶋 奥田 笠嶋 高橋 笠嶋</p>	<p>6 4部会                      (1) 広報・評価部会：教頭、斉藤、依田、石戸、笠嶋、大山、足立、高橋（欠席：佐藤均）                      ○小中高の連携について                      ・今も決して少ない訳ではない。中高連携は松前学などの活動以外ではこれまでも部活動などで図られている。今後は探究の部分で連携ができればいいし、そういう機会が増えると良い。                      ・書道では以前から小高を中心に連携が図られている。中高を含めて、もう一歩進めて頂きたい。                      ・中学校での松前高校の説明が短時間で終わっていた状況もあり、協力体制が十分ではなかったのではないか。                      ・中3の5月時点である程度進路希望が定まっている。中3からではなく、1・2年生からでも高校を知る機会があると良い。遠隔授業や選択科目の授業など、とても興味深い授業があるのに、松前高校の教育活動についてよく把握していない状態で町外の高校を選択する生徒もいる。地域みらい留学の「入学して欲しい生徒像」のスライドは非常に分かりやすくイメージが湧きやすいので校内に掲示しても有効だと思う。</p> <p>○高校のPR活動について                      ・広報活動ではInstagramやXなどのSNSは必須。若い先生を中心にチームを組んで積極的に更新するとよい。                      ・松ゼミの社会科学ゼミで、SNSを活用したPR活動を研究する班があるので、積極的に取り組みたい。                      ・東京/大阪の進学フェアに行くまでが勝負だ。道教委として使用や運用に問題がなければ取りくんで欲しい。                      ・千葉工業大学は近畿大学を抜き志願者数が全国一多い大学だ。かなり戦略的に動いていると感じる。                      ・SNSは主に教職員が対応している。OCは教職員・学生スタッフ総出で対応し成果を出している。</p> <p>○全国募集に係る住環境の整備について                      ・朝夕の2食は必須。「おかえり」「ただいま」といった声かけや見守りをする人がいることも重要。費用的にも魅力的であるとよい。フェアでは費用面についてある程度明確に説明できないと逃げられてしまう。                      ・まだ明確には言えないが検討が必要。                      ・フェアでは数あるブースの中から中学生や保護者が高校を選ぶためには、他校とは違う、キラリと光るものが必要だ。</p>	

<p>喜多</p> <p>濱村</p> <p>木村(玲)</p> <p>関口</p> <p>木村(玲)</p> <p>喜多</p> <p>木村(太)</p> <p>関口</p> <p>木村(太)</p>	<p>(2) 松前学部会：喜多、濱村、木村太、木村玲、関口（欠席：松村）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度もゼミ形式の活動を継続している。全国募集が始まったこともあり、町・学校のPRをしたいというグループが多い。</li> <li>・全国募集はぜひ頑張ってもらいたい。保健ゼミの郷土料理グループは、前回の授業の際に、生活改善グループ、地域おこし協力隊の方が参加したミーティングが盛り上がっていた。今年度はスマイル補助金を活用した取り組みとして、学校祭で郷土料理を提供する活動を行いたい。ヤリイカ二箱分は確保してある。小中学校の児童生徒を招待して、郷土料理の良さ、松前高校の良さを知ってもらいたい。学校祭に来るキッチンカーの提供内容がわかれば、メニューの考案に進むことができる。</li> <li>・前回の授業では、コンテスト用の桜ボンボンを試作した。学校祭に向けては、作りたいメニューの案はいくつかあげているので、実現可能性を含めて、次回の授業で検討していきたい。</li> <li>・企業として、学校に期待する事が2つある。1つめは、探究活動を通して地域の大人と関わり、生徒のキャリア観を深めてほしい。OB/OGとの交流を盛んにし、悪い意味ではなく、松前に戻って働くという選択肢をとることができる体制作りをしてほしい。もう一つは、持続的な体制作りをお願いしたい。濱名校長先生や、現在の担当の先生が異動されても、この取り組みが進むことが望ましい。松高を選んでもらえるように中学校で月1回程度、中高連携を図ってみてはどうか。</li> <li>・さらには、小学生にも松高の魅力や雰囲気伝わる機会を設け、松高に将来行きたいと憧れを育むことを目指したい。</li> <li>・関係作りに関しては、今年度の目標として、「全グループが地域の大人と関わって探究活動を行う」を設定しており、かなり高い達成率になる見込みがある。また、今年度は、「松前みらい塾」という取り組みを始める。他町や松前町で活躍している松高の卒業生や、地域の大人に講演していただき、座談会を行う。地域課題の解決に関するヒントを得たり、キャリアについての考え方を育成したりすることを目的としている。その中でOB/OGと交流することも検討している。また、今年度は教育委員会の方とも協力して取り組みができています。探究に関するアドバイスをいただき、全国募集業務を協力して行っている。このように、多くの人に関わってもらうことで持続的な取り組みにしていきたい。また、他のグループは地域での交流イベントを企画しているグループが多い。</li> <li>・昨年度は子どもカジノなどのイベントが盛況だった。来年度も地域が盛り上がるイベントを企画していきたい。</li> <li>・今年度は、ぜひ高校生ともコラボしてほしい。出店のアルバイトの募集など。そこで関係作りが進めば、次年度は探究のテーマになっていく良い循環が生まれるかもしれない。</li> <li>・実施できるように検討していきたい。</li> </ul>	
<p>阿部</p> <p>鍋谷</p>	<p>(3) 国際理解教育部会：阿部（村杉代理）、鍋谷（欠席：白川、工藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R6の事業報告とR7の事業予定について説明。昨年度、新たに始めた取り組みもおおむね好評で、今年度も継続して取り組む予定。</li> <li>・町内の外国人が増えてきている印象がある。矢野旅館に勤めている方はコミュニケーションも取りやすいかと思うので、町外から人を呼ぶだけでなく、町内での交流も検討するとよいのではないか。</li> </ul>	
	<p>(4) 書道教育部会：（欠席：古川、市田）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者欠席のため開催なし。</li> </ul>	
<p>笠嶋</p>	<p>5 総括 CS会議のまとめとして御挨拶をいただきました。</p>	